

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年12月14日

計画の名称	災害に強く、暮らしを支える施設づくり（下水道）（重点計画）												
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	宮崎市												
計画の目標	集中豪雨等による浸水被害軽減を図るため、下水道施設の整備を推進し、災害に強く、暮らしを支える施設づくりを目指す。 南海トラフ巨大地震など大規模災害に備え、下水道施設の耐震・耐津波化を推進し、災害に強く、暮らしを支える施設づくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,265	A	3,265	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R4末	中間目標値 R7末	最終目標値 R9末
1	下水道による都市浸水対策達成率を52.3%(R4)から55.3%(R9)に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 (浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha))	52%	54%	55%
2	施設（汚水・雨水）の下水道施設耐水化計画に基づく耐水化対策実施率を0.0%(R4)から66.7%(R9)に増加させる。 施設（汚水・雨水）の下水道施設耐水化計画に基づく耐水化対策実施率 (下水道施設耐水化計画に基づく耐水化対策実施済み箇所（箇所） / 下水道施設耐水化計画に基づく耐水化対策を実施すべき箇所（箇所）)	0%	25%	67%
3	ストックレジリエント計画に基づく長寿命化対策に伴う施設（雨水）の機能保全率を0.0%(R4)から100%(R9)に増加させる。 ストックレジリエント計画に基づく長寿命化対策に伴う施設（雨水）の機能保全率 (ストックレジリエント計画に基づく長寿命化対策により機能保全した箇所（箇所） / ストックレジリエント計画に基づく長寿命化対策により機能保全すべき箇所（箇所）)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	本郷地区雨水幹線整備	幹線 L=0.7km	宮崎市						250	-	
	A07-002	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	旭地区雨水幹線整備	幹線 L=1.0km	宮崎市						520	-	
	A07-003	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	大橋地区排水路整備	排水路 L=0.4km	宮崎市						40	-	
	A07-004	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	和知川原地区排水路整備	排水路 L=0.5km	宮崎市						105	-	
	A07-005	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	恒久地区排水路整備	排水路 L=1.5km	宮崎市						295	-	
	A07-006	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	住吉地区排水路整備	排水路 L=0.6km	宮崎市						60	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	波島地区排水路整備	排水路 L=0.8km	宮崎市						325	-	
	A07-008	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	池内地区排水路整備	排水路 L=0.6km	宮崎市							100	-
	A07-009	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	上田島地区排水路整備	排水路 L=0.5km	宮崎市							180	-
	A07-010	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	田野地区排水路整備	排水路 L=1.0km	宮崎市							50	-
	A07-011	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	ポンプ場	新設	川原地区排水路整備	雨水ポンプ場 N=1箇所	宮崎市							10	-
	A07-012	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	南花ヶ島地区排水路整備	排水路 L=0.5km	宮崎市							10	-

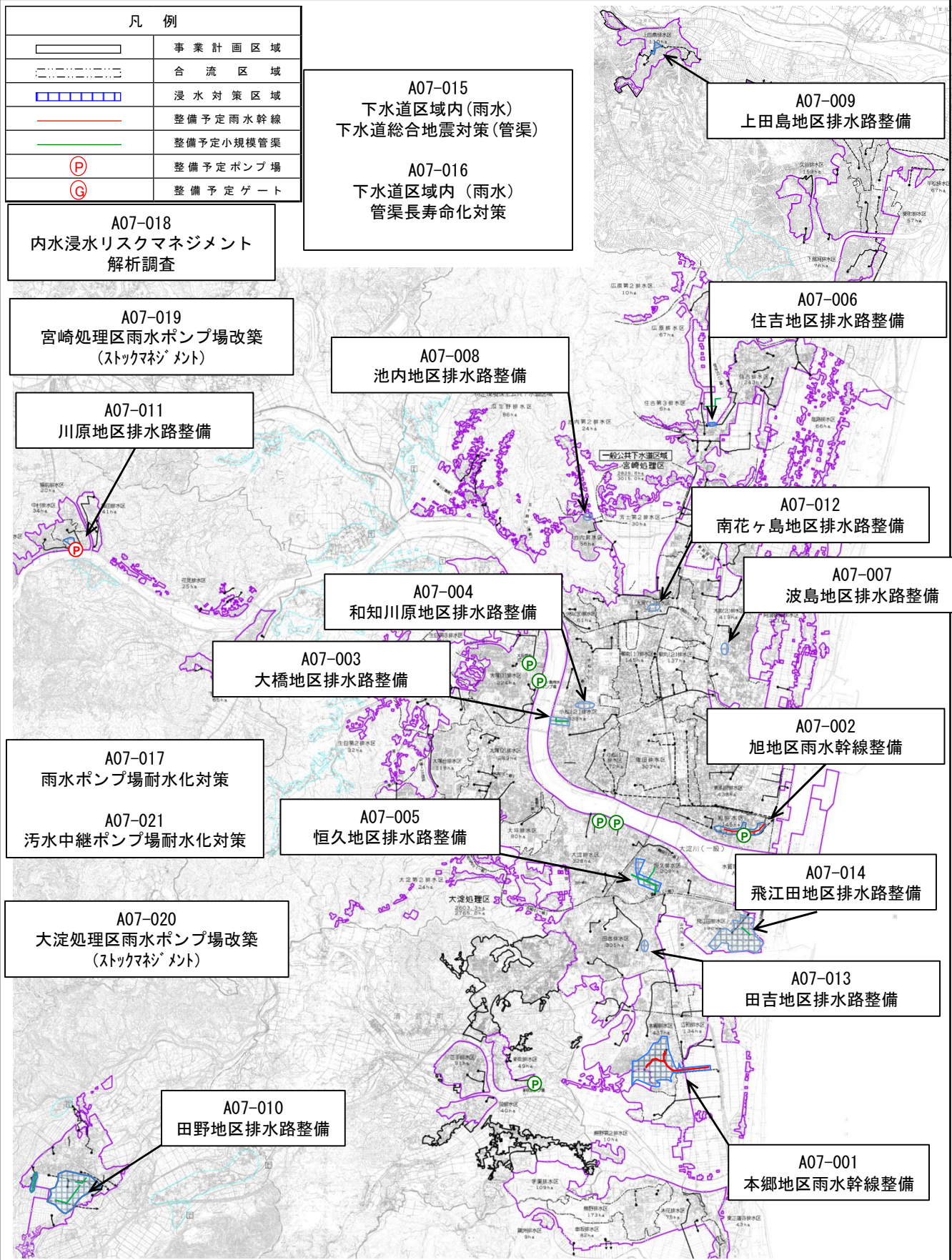
A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	田吉地区排水路整備	排水路 L=1.0km	宮崎市						10	-	
	A07-014	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	新設	飛江田地区排水路整備	排水路 L=0.3km	宮崎市						40	-	
	A07-015	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	改築	下水道区域内(雨水)下水道総合地震対策(管渠)	耐震化(管更生、可とう化、MH浮上防止)	宮崎市						10	-	
	A07-016	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	管渠(雨水)	改築	下水道区域内(雨水)管渠長寿命化対策	管更生 L=0.08km	宮崎市						130	-	
	A07-017	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場耐水化対策	耐水化	宮崎市						200	-	
	A07-018	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	-	-	内水浸水リスクマネジメント解析調査	浸水解析調査、内水浸水想定区域図作成	宮崎市						460	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-019	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	ポンプ場	改築	宮崎処理区雨水ポンプ場改築(ストックマネジメント)	機械、電気	宮崎市						65	-	
	A07-020	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	ポンプ場	改築	大淀処理区雨水ポンプ場改築(ストックマネジメント)	機械、電気	宮崎市						75	-	
	A07-021	下水道	一般	宮崎市	直接	宮崎市	ポンプ場	改築	汚水中継ポンプ場耐水化対策	耐水化	宮崎市						330	-	
												小計						3,265	
												合計						3,265	

計画の名称	災害に強く、暮らしを支える施設づくり（下水道）（重点計画）
計画の期間	令和5年度～令和9年度（5年間）



事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強く、暮らしを支える施設づくり（下水道）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性が確保されている。 1) 社会資本整備重点計画、大淀川流域別下水道整備総合計画等、に適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性が確保されている。 2) 宮崎市総合計画、都市計画マスタープラン、上下水道マスタープラン、に適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 安全・安心、快適な暮らしという観点から地区の位置づけが設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 3) 緊急性の高い課題に取り組み内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 効率的な事業推進が図られる事業構成になっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画について住民等との合意形成ができています。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 事業推進に向けた地域の機運がある。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

地元の熱意 2) 継続的な事業の展開が見込める。

○